



くつな石と木の鳥居



(住所) 明日香村阪田
 (祭神) 高麗神
 (交通) 近鉄橿原神宮前駅東口か飛鳥駅前から赤かめ周遊バス

「石舞台」下車、徒歩約40分
 (拝観) 自由
 (駐車場) なし
 (電話) なし

竈神社は、明日香村の石舞台から南の細川山の東の谷間にひっそりと鎮座しています。社殿はなく、ご神体は「くつな石」と呼ばれる磐座で、雨の神として祭られ、現在はふもとにある葛神社に合祀されています。

竈神社へは別名「金鳥塚」と呼ばれる都塚古墳

が目印で、都塚古墳の近くにくつな石への案内板



竈神社 (明日香村)

があります。阪田の柵田を眺めて登っていくと、防獣柵があります。柵の先は緑に包まれ、水の流れる音と小鳥の鳴き声のみが聞こえる静寂な空間です。三つの穴が開いた苔むした砂防ダムがあり、まるでアニメの世界

に迷い込んだようです。山道を100ぐらい登ったところに磐座と小さな木の鳥居があります。昔、ある石屋がこの大きな石に目をつけ、切り出そうとノミを打ち込んだところ、その割れ目から赤い血が流れ、血まみれの蛇が現れました。驚いた石屋は大慌てで逃げ

帰りましたが、その晩から高熱と腹痛に襲われて、とうとう死んでしまいました。それ以来、村人たちは神の宿る石として祭ったといわれ、また現在祝戸の各戸には蛇(巳)が祭られています。参拝後、防獣柵を出てすぐの小道を左へ上ると、柵田の向こうに畝傍山、二上山まで見渡せる絶景が広がっています。(奈良まほろばソムリエの会 柳原恵子)

雨の神の大石祭る

の会 柳原恵子